

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2016年度 助成者)

作成日 2016年9月1日

氏名	入江 美穂
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研修期間	2016年8月15日(月)～20日(土)
大学名 学年	東京女子医科大学 5年

今回のハワイ東海大学研修では、今までに経験したことのないほど多くのものを得ることが出来ました。ハワイに着く前までは詳しい内容があまり分かっていなかったため、初めて行くハワイと他大学の学生と会えることだけを主に楽しみにしていました。しかし、現地に着いてからすぐに、参加者全員、才能のある、モチベーションの高い人たちであることが分かりました。授業では発言や質問もたくさん飛び交い、英語での議論も積極的に行われました。同学年のやる気ある学生たちに囲まれ、私自身も様々な点で感化されました。学生たちだけでなく、現地で授業を持って下さった先生方、お忙しい中日本から来て下さった先生方も知識が豊富であり、一緒に時間を過ごすことで多くの刺激を受けることが出来ました。全てのプログラムにおいて、学ぶことが多かったのですが、その中でも、**Case Presentation** の練習を毎日出来たことが一番印象的でした。午前中には現地の先生方による講義が行われ、現場の話聞くことができ、一人一人クラスの前で **Case Presentation** する機会が与えられ、立ち方、声の大きさ、話し方、使う表現の選択の仕方など事細かく指導して頂きました。さらに、その授業は1日だけでなく、3日間も行われたので、学生それぞれのレベルが異なるとはいえ、全ての学生が各々のレベルアップを実感出来たことは確実であり、日々の成長をクラスメイト同士でも、また自分自身でも感じる事が出来たのは大変な自信へと繋がりました。私自身は、初日には原稿を書かずには出来なかった **Case Presentation** が、最終日にはメモだけに頼り、声の大きさ、イントネーションのつけ方、立ち方等 **Additional** なことに重視しながら行えたことは大きな進歩であったと自負しています。**History Taking** の練習を **University of Hawaii** の医学生たちと行えたことはとても有意義であると共に、彼らの知識の多さ、経験値の高さには驚かされました。現地の医学生との交流をすることで、どうすれば上手く **History Taking** を行えるか、そしてそこからどう工夫をすればスムーズに **Case Presentation** が行えるかを個人個人教えてもらうことが出来、大変有意義な時間になりました。また、授業の最後には日本人の学生1人が全員の前で **Case Presentation** を行い、その診断を当てるという時間がありました。その時に、**University of Hawaii** の医学生が1年生や2年生であっても病態を説明したり、診断を予測していたことに大変衝撃を受けました。日本の学生の間ではなかなか見られない、学年に関わらず全員が積極的で勉強熱心であり、挑戦する姿勢がそこにはありました。そのような **Active** な学生たちを間近で見ること、日本に帰ってからの自分の勉学や実習に対する姿勢を改め、より有意義なものに出来るようにしたいという思いを強くすることが出来ました。

Medical Ethics のクラスでは、普段日本での医学教育ではあまり深入りすることのない医療倫理について学生同士で熱く議論を行えました。本来日本語で話すことのできる先生、生徒同士で英語で議論することは難しい部分でもありましたが、しっかりと切り替え、議論に集中できたことで、発言する能力、説明するスキル、また相手の主張をしっかりと理解する力を身につけることができ、医学英語に限らず、英語における会話のスキルアップにつながりました。最終日には **Presentation** があり、そのための準備をグループごとに行ったことで、一つのことを協力して作り上げる難しさを知ると同時に大きな達成感を得ることが出来ました。

現地で日本人として活躍されている先生方による **Special Lecture** は、将来のビジョンを描くために確実に必要な大きな一歩となりました。私自身は今回のプログラムに参加する前から、アメリカで医師として働きたいという大きな夢があり、その果てしなく大きな夢に、現在どうしたらいいのかわからず途方に暮れている部分がありました。しかし、実際に活躍されている先生方のお話を聞くことで、大きく自分の夢に近付けたと感

じられ、今後どうしたら良いかも少しずつ見えてきました。さらに、当日の **Lecture** の時だけでなく、その後にも連絡を取らせていただいたり、相談に乗ってもらえたり、今後に繋がる大変貴重な出会いとなりました。今回、1週間という短い期間ではありましたが、日本では絶対に経験することの出来ない濃く充実した時間を過ごすことが出来ました。このプログラムで得た経験、知識により、今後より実のある医学生として、将来の医師として確実に成長できたと実感出来たので、この経験を良き思い出とするだけでなく、今後の勉学、将来のライフプランに役立てたいと思います。

この場をお借りして、お忙しい中多くの指導をして下さった先生方、貴重な一期一会を与えてくださった方々に感謝いたします。ありがとうございました。